

論述審査(専門科目)

問題用紙

- ・ 論述審査(専門科目)の解答は、各自の作業環境において、マイクロソフト Word で作成し、後述の【提出先】へアップロードしてください。
- ・ 解答用の Word ファイルを 2 つ作成することになります。それぞれのファイルに、1 行目に問題番号、氏名、受験番号(メールで通知)を記載してください。
- ・ Word ファイル名は、「受験番号 - (ハイフン) 問題番号」としてください。
- ・ 答案は、他の人に相談せず、独力で作成してください。
- ・ 文献に書かれていた事実や考えの「引用」と「自分の独自の考え」を、明確に区別して記述してください。文献にあった内容を利用していても、逐語的引用ではなくても「引用」です。本文の引用部分には適切な方法で引用した文献を明示して、論文末には、引用した文献のリストをつけてください。リストにあげた文献は、基本的な書誌情報を含むようにしてください。
- ・ 文献中に紹介されている外国語等の文献の表記を、一次資料を自分で参照し読むことなく、説明なしにそのまま用いることは「孫引き」に該当します。特別な理由がない限り避けてください。やむを得ず孫引きする場合は、二次資料であることが分かるように記載してください。

【提出期限】 ××××××××××××××××受信まで
(提出期限の日時を過ぎて本学で受信が確認された場合は無効)

【提出先】 以下のフォームから、解答ファイルをアップロードしてください。

××××××××××××××××

提出が正常に完了した場合は、Google formsより受領確認メール(件名「博士後期課程入試 論述審査(専門科目) 2026 年度第 1 回入試」)が届きます。3 時間以内に届かない場合は、問合せ先メールへご連絡ください。

Google フォームのファイルアップロード機能を使用しているため、Google アカウントのログインを求められます。

アカウントをお持ちでない(作成方法がわからない)場合は××××××××××××××××までに以下のメールへお問い合わせください。

問い合わせ先:×××××××××××××××× 博士後期課程 入試委員会宛

問題 1～3 から 2 つ選び、それぞれについて論じなさい。問題番号を明記し、1 つの問題ごとに 1 つの解答（マイクロソフト Word ファイル）を作成せよ。文字数は 3,000 字程度（2,700 字以上 3,300 字以内）、引用文献リストは文字数に含めないものとする。

問題番号 1

文部科学省は令和 3 年 3 月、新学習指導要領の趣旨に基づき、ICT の活用を通じて「個別最適な学び」と「協働的な学び」の一体的な充実をめざした授業改善およびカリキュラム・マネジメントの推進に資する参考資料を総則の構成に沿って提示した。

上記の文脈を踏まえ、「個別最適な学び」と「協働的な学び」がそれぞれ意味する内容を、具体例を用いて説明しなさい。あわせて、両者を教育実践に取り入れる際に留意すべき観点について、あなたの見解を述べなさい

問題番号 2

教職を含む対人援助職の養成課程において、学生の中に特別な支援や心理的・福祉的なケアを必要とする者がいた場合、教員は、「養成」「評価」「支援」の三つの責務をいかに両立するかを問われることになる。この問題意識を出発点として、具体的な職種を設定し、対人援助職の養成の現状と在り方について、先行研究や統計データを適宜用いて論じなさい。

問題番号 3

現代社会では、地球環境の悪化（気候変動、大気汚染、資源枯渇など）が人々の健康に深刻な影響を与えており、環境教育や健康教育の現場でも喫緊の課題となっている。これはプラネタリーヘルスの問題と捉えられている。

①地球環境と健康に関する主な社会的課題を概観し、それらの課題が教育現場においてどのように位置づけられるべきか、あなたの見解を述べ、②地球環境と健康に関する課題を具体的に教育現場で、どのように扱ってきたか、どのように扱うべきかについて、実践例を交えて論じなさい。

論述審査(専門科目)

問題用紙

- ・ 論述審査(専門科目)の解答は、各自の作業環境において、マイクロソフト Word で作成し、後述の【提出先】へアップロードしてください。
- ・ 解答用の Word ファイルを 2 つ作成することになります。それぞれのファイルに、1 行目に問題番号、氏名、受験番号(メールで通知)を記載してください。
- ・ Word ファイル名は、「受験番号 - (ハイフン) 問題番号」としてください。
- ・ 答案は、他の人に相談せず、独力で作成してください。
- ・ 文献に書かれていた事実や考えの「引用」と「自分の独自の考え」を、明確に区別して記述してください。文献にあった内容を利用していても、逐語的引用ではなくても「引用」です。本文の引用部分には適切な方法で引用した文献を明示して、論文末には、引用した文献のリストをつけてください。リストにあげた文献は、基本的な書誌情報を含むようにしてください。
- ・ 文献中に紹介されている外国語等の文献の表記を、一次資料を自分で参照し読むことなく、説明なしにそのまま用いることは「孫引き」に該当します。特別な理由がない限り避けてください。やむを得ず孫引きする場合は、二次資料であることが分かるように記載してください。

【提出期限】 ××××××××××××××××受信まで
(提出期限の日時を過ぎて本学で受信が確認された場合は無効)

【提出先】 以下のフォームから、解答ファイルをアップロードしてください。

××××××××××××××××

提出が正常に完了した場合は、Google formsより受領確認メール(件名「博士後期課程入試 論述審査(専門科目) 2026 年度第 2 回入試」)が届きます。3 時間以内に届かない場合は、問合せ先メールへご連絡ください。

Google フォームのファイルアップロード機能を使用しているため、

Google アカウントのログインを求められます。

アカウントをお持ちでない(作成方法がわからない)場合は××××××××××××××××までに以下のメールへお問い合わせください。

問い合わせ先: ×××××××××××××××× 博士後期課程 入試委員会宛

問題 1～3 から **2つ** 選び、それぞれについて論じなさい。問題番号を明記し、1つの問題ごとに1つの解答（マイクロソフト Word ファイル）を作成せよ。文字数は 3,000 字程度（2,700 字以上 3,300 字以内）、引用文献リストは文字数に含めないものとする。

問題番号 1

部活動の地域移行が推進されることの利点と課題についてまとめ、部活動の地域移行についてあなたの考えを論じなさい。

問題番号 2

論文“リサーチ・クエスチョンの理論化 (Theorising research questions) Workshop 講演録、クリス・チャップマン (ブリストル大学教授)”を読み、①あなたの現在の立場から、本論文の賛成点と反対点について述べ、②あなたはどのようなプロセスで研究のリサーチ・クエスチョンを立てたかについて、ご自身で利用した参考文献を挙げつつ述べなさい。

指定論文：クリス・チャップマン：『リサーチ・クエスチョンの理論化』メルコ管理会計研究 13 号－I，(2021), pp.63-79.

問題番号 3

人権教育は現在、「人権教育のための世界計画」の第4段階に入っており、持続可能な開発目標 (SDGs) と連携して人権という普遍的文化を構築するための計画を実行中である。しかしながら日本では様々な人権問題が新たに出現し、課題が山積している状況である。この点について「共生」の観点から、①これまでの日本における人権教育の歴史的背景および取り組みを説明し、②現在の日本における人権に関する具体的な問題や課題を挙げて、③人権教育の課題とその解決に向けた方策について、あなた自身の考えを明らかにして論評せよ。